

研修センター便り

No.3 後志教育研修センター

平成27年 6月30日 発行

TEL 0136-22-1337

FAX 0136-22-2681

「前(さき)に生まれん者(もの)は～」

所長 平 正 博

今年度の研修講座においても授業実践を伴うものは、講師在籍校を会場に開設しております。当該校の校長先生をはじめ、教職員の皆様の御理解と御協力に深く感謝しております。

「学級経営1」研修講座も例外ではなく、余市町立大川小学校 島校長はもとより、当該教職員の御協力により講座を終了することができました。講師である本校の吉尾先生と望洋台中 濱田先生からは、学級成員一人一人の個性を生かすとともに、相互承認し合える段階にまで児童生徒を高め、意欲的に集団活動のできる望ましい学級経営の在り方について御指導いただきました。

受講者のほとんどが20代で、これからの管内教育の中核教員として間違いなく成長される先生であると強く確信致しました。それは、研修に対する姿勢が実に能動的、かつ、協同的であったからです。

加えて、それぞれ自校の子どもたちを極めて深く愛しながら、日々の教育活動に当たられていることが容易に推測できたからでもあります。

講座終了後のアンケートでは、「管理職や同僚の勧めで受講しました」との回答が2人からあったのに加え、「初任者指導教員の勧めで参加しました」と回答された先生が1名おりました。昨年度も管理職や同僚からの勧めで受講された先生が、およそ5人に1人の割合でおりましたが、初任者指導教員からの勧めというのは開講以来初めてかと思えます。初任の先生の将来が大きく拓けるよう、マクロ的・俯瞰的な思慮の下、ミクロ的・局所的に行動を起こされた指導教員の的確な先見性に感心致しました。

親鸞聖人の説かれた「教行信証」の最後に、「前(さき)に生まれん者(もの)は後(のち)を導き、後に生まれん者(ひと)は前を訪(とびら)え」とあります。これは中国の七高僧の一人の説話を親鸞聖人が「教行信証」の中で用いたものです。「前に生まれた者は後に生きる人を導き、後の世に生きる人は先人の生きた道を問いたずねよ」という意味を再発信するために再掲したようです。

管理職や同僚及び初任者指導教員という先輩教師が、若手教員の成長を丁寧に支援しておられる姿は、親鸞聖人の再掲した教えと軌を一にする尊い行いであると考えます。そのような意味からも、講師となられた先生の功績も大なるものがございます。

このような事例以外にも当センターの学習指導調査研究委員会では、メンタリングに基づいた人材育成についての研究を推進しております。「メンター」という「前に生まれん者」が、「メンティ」という「後に生まれん者」を継続的・定期的に導く方策について研究中であります。詳細につきましては、平成26年度当センター研究紀要NO. 89号にて御参照くださいますようお願い致します。



10名の新所員を紹介します。どうぞ、よろしくお願い致します。

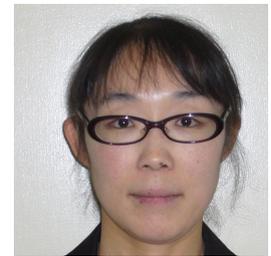


沼田 守 (朝里中 校長)

吉尾 充二 (大川小)

赤松 慎也 (俱西小樺山分校)

堤 洋平 (黒川小)



井形 一愛 (黒松内中)

菊池 剛志 (蘭越中)

菊地 洋平 (俱知安中)

日光 貴美恵 (京極中)



教育講演会演題決定 8月4日

大ホールで開催します教育講演会には、北広島市立大曲小学校 校長 横藤 雅人 先生をお迎えします。演題は、「織物モデルで考える学級・学年・学校経営」と決まりました。

山田 耕平 (喜茂別中)

樋口 範幸 (二セコ町教委)

☆ 7月の講座紹介 講座の「ねらい」は開催要項を御覧ください。

7月 6日 (月)	「理科2日目」研修講座	(開催要項P24)
講師	富樫 広介 (東中教諭)	柴田 倫克 (岩内東小教諭)
10日 (金)	「校内研修」研修講座	(開催要項P15)
講師	吉尾 充二 所員、赤松 慎也 所員	※会場変更：俱知安小、小3算数の授業 13:35～
13日 (月)	「学校保健」研修講座	(開催要項P31)
講師	丸山 素子 (向陽中養護教諭)	駒形 泰子 (岩内東小養護教諭)
27日 (月)	「学級経営2」研修講座	(開催要項P13)
講師	吉岡 智尋 (菁園中教諭)	西野 公子 (沢町小教諭)
29日 (水)	「学校経営1」研修講座	(開催要項P9)
講師	下口 学 (仁木小 校長)	法本 明洋 (忍路中 校長)
30日 (木)	「学校経営2」研修講座	(開催要項P10)
講師	村上 俊一 (望洋台中 教頭)	水口 正紀 (黒川小 教頭)
31日 (金)	「書写実技」研修講座	(開催要項P35)
講師	井形 一愛 (黒松内中 教諭)	渡邊 由佳 (俱知安小 教諭)